

■未処分利益剰余金の処分について■

未処分利益剰余金(2億6,930万円)について、今後の健全な財政の運営を図るため、次のとおり処分(使途を決定)しました。

- ・減債積立金の積み立て 5,000万円
- ・建設改良積立金の積み立て 5,000万円
- ・資本金への組み入れ 3,594万円

→残りの1億3,336万円は平成29年度へ繰り越し

純利益は、老朽化した施設の更新などの設備投資や企業債(施設整備時の借入金)の償還財源として活用していきます。水道水の安全、確実な給水体制を持続させていくためには、適正水準の利益を確保し、内部留保していくことが必要となります。

■事業の概況■

未給水地域における配水管の布設を進めて給水基盤の拡充を図るとともに、老朽化した配水管の布設替えや機械・電気などの設備更新を計画的に実施しました。

また、災害復旧事業については、大船渡駅周辺地区の土地区画整理事業に伴い必要となる配水管の布設工事を継続するとともに、防災集団移転促進事業については、新たに造成される赤崎町永浜団地への配水管布設を進め、被災世帯の住環境の整備、促進に努めました。

■業務の状況■

( )内は平成27年度比較

- ・行政区域内人口(A) 31,282人 (△410人)
- ・給水人口(B) 29,152人 (△367人)
- ・給水件数 13,341件 (△101件)
- ・水道普及率(B/A) 93.2% (+0.1%)
- ・総配水量(※4)(C) 369.7万m<sup>3</sup> (△21.6万m<sup>3</sup>)
- ・総有収水量(※5)(D) 306.0万m<sup>3</sup> (+1.9万m<sup>3</sup>)
- ・有収率(D/C) 82.8% (+5.1%)

# 平成28年度 水道事業会計決算

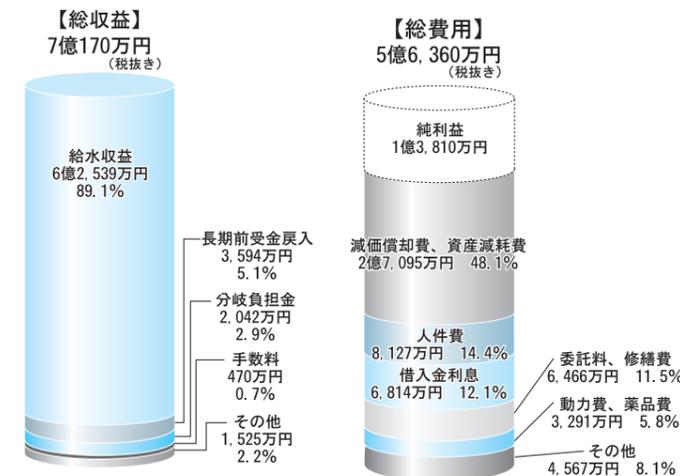
9月に開催された市議会第3回定例会において、平成28年度の水道事業会計決算が認定されました。経営収支の状況は、東日本大震災からの復旧、復興に伴う使用水量の増加などにより、当年度の純利益は1億3,810万円となりました。

当年度未処分利益剰余金(※1)は2億6,930万円となり、このうち、減債積立金(※2)と建設改良積立金(※3)にそれぞれ5,000万円を積み立て、資本金に3,594万円を組み入れることとし、残りの1億3,336万円は平成29年度へ繰り越しました。

▷問い合わせ先=水道事業所庶務係(内線☎202)

水道事業会計は、公営企業として、市の会計から独立した経理処理をしており、施設の通常の維持・管理などの事業運営を行うための「収益的収支」と、水道施設の建設や改良更新工事などを行うための「資本的収支」に分かれています。

## 収益的収支 <<水道事業を運営するための収益と費用>>



総収益は、水道料金などの給水収益が増加したものの、水道の設置に伴う工事検査手数料や配水管からの分岐を行うために必要な工事の負担金が減少したことなどから、前年度比1,717万円少ない7億170万円となりました。

総費用は、建設改良事業による送配水管の布設などに伴う減価償却費が増加したことなどから、前年度より2,916万円多い5億6,360万円となりました。

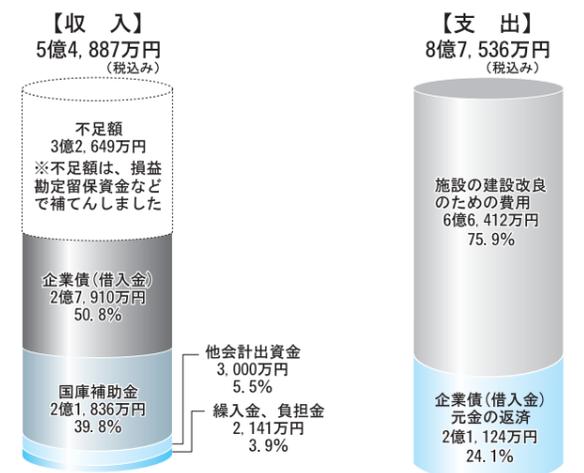
この結果、総収益から総費用を差し引いた当年度の純利益は、前年度より2,009万円少ない1億3,810万円となりました。

## 資本的収支 <<水道施設を整備するための財源と費用>>

収入は、水道施設整備事業や配水管の布設替えなどの改良更新事業に充てるための企業債(借入金)や災害復旧事業に対する国庫補助金などで、前年度より9,048万円多い5億4,887万円となりました。

支出は、水道施設の整備や施設の改良更新、震災関連の災害復旧に伴う費用、企業債元金の返済などで、前年度より7,213万円多い8億7,536万円となりました。

収入の不足分3億2,649万円は、減価償却費など現金の支出を伴わない留保資金で補てんしました。



- 設備の更新 第1浄水場など水道施設の機械・電気設備の更新工事
- ▽施工延長 1億5,707万円 (口径50~150mm)
- ▽工事費 2億1,954万円
- ▽施工延長 4,887万円 (口径50~300mm)
- 送配水管の布設替え 老朽化した送配水管の更新工事を実施しました。
- ▽工事件数 7件
- ▽工事費 1億2,066万円
- ▽施工延長 608m (口径50~250mm)



- ①未給水地域解消 日頃市町字下小通地内にポンプ場を築造しました。また、猪川町字長洞地内などの地域に送配水管を布設しました。
- ▽工事件数 7件
- ▽工事費 1億1,455万円 (口径75mm)
- ▽施工延長 1,700m

### 平成28年度の主な建設改良事業



②良質な安全な水の安定供給 老朽化した送配水管の更新工事を実施しました。

- ③防災集団移転による水道施設整備 被災世帯用に高台に整備された赤崎町永浜団地に配水管を新設しました。
- ▽工事件数 381件
- ▽工事費 3億8,114万円
- ▽施工延長 145m

- ④東日本大震災からの復旧 大船渡駅周辺地区土地区画整理区域に配水管を布設しました。
- ▽工事件数 9件
- ▽工事費 2億1,954万円
- ▽施工延長 4,887m (口径50~300mm)



### 用語解説

- 未処分利益剰余金(※1) 経営活動により生じた利益で、特定の使途(使い道)が定まっていないもの
- 減債積立金(※2) 企業債(借入れ)の償還の財源に充てるための積立金
- 建設改良積立金(※3) 建設または改良工事などを行うための財源に充てるための積立金
- 総配水量(※4) 配水池から配水管に送り出された水量
- 総有収水量(※5) 1年間の料金徴収の対象となった水量